

のしろ市議会だより

わたし まち

2023年(令和5年)10月25日 第70号



能代ふれあいプラザ屋上から望む能代厚生医療センター

◆ 特集 ◆

能代厚生医療センター
～地域中核病院として～



令和5年9月定例会
録画中継ページ

特集	P 2
9月定例会の概要	P 3
審議結果一覧	P 4
一般質問 ほか	P 5～P 7
各委員会・分科会での主な審査概要	P 8～P 10
議会運営委員会視察報告 ほか	P 11
議会の主な動き ほか	P 12

◆特集◆ 能代厚生医療センター ～地域中核病院として～

いまだ収束が見えない新型コロナウイルス感染症、インフルエンザも流行の兆しが見えています。ほとんどの人が病気やけがから逃れることはできません。私たちの暮らしは医療とつながっています。

今回は能代市で大規模な総合病院であり、唯一の産婦人科がある能代厚生医療センターの太田原康成院長にお話を伺いました。



太田原康成院長

問 産婦人科の体制と人口減少についてどう思いますか。

答 以前から秋田大学医学部附属病院との強力なパイプがあり、産婦人科の医師は常に4人体制を維持しています。人口減少によるものなのか、お産の数は減少していますが、この体制を維持することが役割と自負しています。産婦人科には大潟村や青森県深浦町からも来られます。

問 救急医療体制維持や秋田大学医学部附属病院との連携はどのようなものでしょうか。

答 救急医療体制はとても大切な問題です。この病院はほぼ全ての診療科があるので、おおむねどのようなことにも対処できるようにしています。

三次救急については、秋田大学医学部附属病院と太いパイプで連携しながら役割分担をしています。少し前までは「心筋梗塞」の治療は三次救急として秋田大学医学部附属病院等へ搬送していましたが、当院で急性期治療ができるようになりましたので、24時間体制で対応しています。

問 建物が完成してからはばらぐたいますか、耐震や浸水想定区域に建っていることへの対策はしていますか。

答 当院は平成元年に移転新築し、新耐震基準は満たしています。浸水想定区域への対応では、県の協力で9年前に自家発電装置の浸水対策工事等を行いました。

災害時の医療体制面ではマニュアルの更新や訓練を行っています。また、当院の災害派遣医療チームDMAT（ティーマット）を国や

県の訓練に積極的に派遣しています。



災害派遣医療チーム(DMAT)のみなさん

問 医療従事者の担い手不足についてはどうしていますか。

答 看護師確保は全国の医療機関で頭を痛めています。幸いにも秋田しらかみ看護学院が隣にあり、教育にも全面的に協力しています。卒業生から継続的に職員になってもらっているのが心強い存在でもありません。しかしそれで充分足りているわけではありません。医師の負担軽減のための医療秘書の確保もかなり苦労しています。

問 コロナ下での救急医療について変化はありましたか。

答 明らかに緊急ではないような患者も以前はいましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大から、患者の行動変容がありました。患者が減りましたし、病院に来る、来ないの判断が繊細になったように感じます。

新型コロナウイルス感染症も5類に移行しましたが、ウイルスの力が弱くなったわけではありません。これからどうなっていくのか慎重に見ていきたいと思っています。

取材を終えて

能代市の医療を守る重要な拠点の一つである能代厚生医療センターを守っていくために行政、議会が力を発揮しなければならぬと改めて思いました。

取材：相場未来子 畠 貞一郎

9月定例会の概要

令和5年度一般会計補正予算は 全会一致で可決

9月定例会は、9月5日から28日まで24日間の会期で行われました。
提出された議案は、令和5年度一般会計補正予算、令和4年度一般会計決算及び特別会計決算など全24件と、議員発議の意見書案2件で、審議の結果、全ての議案を承認・可決・認定・同意しました。
また、陳情は1件を採択、1件を不採択としました。

主な単行議案

- ◆能代市印鑑条例を一部改正しました
印鑑登録証明書について、スマートフォン等から行うオンライン申請を開始しました。
- ◆能代工業団地拡張造成工事の請負契約を変更しました
設計の変更が生じたことから契約の変更を行いました。
- ◆市営万町住宅建替事業建設工事（建築主体工事）を行います
契約金額 9億8987万円

令和4年度決算

- ・能代市一般会計決算及び特別会計決算
- ・能代市水道事業会計決算
- ・能代市下水道事業会計決算

令和5年度一般会計補正予算

補正予算（第10号）は8億1083万7000円が追加され、予算総額は337億8000万円となりました。

補正予算の主な内容・事業

- ◆財政調整基金積立金 5億5045万2000円
市の貯金に相当する財政調整基金に、前年度からの繰越金の2分の1を積み立てます。補正後の基金残高は32億9357万2000円です。
- ◆子育て世帯物価高騰対策給付金給付事業費 9457万4000円
国の子育て世帯生活支援特別給付金受給世帯を除く、物価高騰の影響を受けている子育て世帯に対して給付金（18歳までの児童1人あたり2万円）を支給します。
- ◆農業・漁業経営フォローアップ資金保証料・利子補給費補助金 331万3000円
7月の大雨により被害を受けた農業者等の負担を軽減するため、資金融資を受ける際の保証料及び利子を補助します。
- ◆道路河川災害復旧事業費 1531万円
5月及び7月の大雨による決壊した河岸を復旧します。

令和5年度特別会計補正予算

- ・能代市農業集落排水事業特別会計補正予算
- ・能代市浄化槽整備事業特別会計補正予算
- ・能代市浅内財産区特別会計補正予算
- ・能代市檜山財産区特別会計補正予算
- ・能代市国民健康保険特別会計補正予算
- ・能代市後期高齢者医療特別会計補正予算
- ・能代市介護保険特別会計補正予算

専決処分の承認

- ◆令和5年7月の大雨災害による被害者に対する市税の減免に関する条例の制定
- ◆令和5年7月の大雨災害による被害者に対する国民健康保険税の減免に関する条例の制定
災害により住宅等に損害を受けた方や収穫すべき農作物に減収があった方の市民税及び固定資産税、国民健康保険税を減免するために条例の制定を専決処分しました。

- ◆令和5年度能代市一般会計補正予算（第6号）
- ◆令和5年度能代市一般会計補正予算（第7号）
- ◆令和5年度能代市一般会計補正予算（第9号）
大雨災害に係る支援や農地、道路等の復旧に必要な経費を専決処分しました。

- ◆令和5年度能代市一般会計補正予算（第8号）
大雨災害に係る復旧や、落雷により故障した自動火災報知設備の修繕に必要な経費を専決処分しました。

人事案件

次の人事案件に同意しました。
○人権擁護委員 佐藤 清美 伊藤 七重
(敬称略)

意見書の提出

9月定例会では、2件の意見書案を可決し、関係行政庁へ提出しました。

- ◆地方財政の充実・強化を求める意見書提出について
- ◆森林環境譲与税の譲与基準の見直しを求める意見書提出について

9月定例会審議結果一覧

○：賛成 ●：反対 欠：欠席 -：退席
※議長は可否が同数の場合以外は採決に加わりません。

議案番号等	議案名等	採決結果	希望					平政・公明党							市民ネットワーク (市民の声、大河の会、能代市政会)	日本共産党	シリウス					
			鍋谷 暁	大高 翔	今野 孝 嶺	菅原 隆 文	安井 和 則	安岡 明 雄	武田 正 廣	藤田 拓 翔	阿部 誠	渡邊 正 人	落合 範 良	針金 勝 彦	渡辺 優 子	後藤 健	藤田 克 美	梶 貞 一郎	小野 立	相場 未 来 子	菊地 時 子	安井 英 章
承9	専決処分した令和5年7月の大雨災害による被害者に対する市税の減免に関する条例の制定の承認を求めることについて	承認	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
承10	専決処分した令和5年7月の大雨災害による被害者に対する国民健康保険税の減免に関する条例の制定の承認を求めることについて	承認	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
承11	専決処分した令和5年度能代市一般会計補正予算の承認を求めることについて	承認	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
承12	専決処分した令和5年度能代市一般会計補正予算の承認を求めることについて	承認	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
承13	専決処分した令和5年度能代市一般会計補正予算の承認を求めることについて	承認	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
承14	専決処分した令和5年度能代市一般会計補正予算の承認を求めることについて	承認	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
56	能代市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
57	能代市印鑑条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
58	能代市保育所条例及び能代市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
59	能代工業団地拡張造成工事の請負契約の変更について	可決	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
60	市管万町住宅建替事業建設工事(建築主体工事)の請負契約について	可決	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
61	市道路線の認定及び廃止について	可決	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
62	令和4年度能代市一般会計決算及び特別会計決算の認定について	認定	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○
63	令和4年度能代市水道事業会計決算の認定について	認定	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
64	令和4年度能代市下水道事業会計決算の認定について	認定	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
65	令和5年度能代市一般会計補正予算	可決	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
66	令和5年度能代市農業集落排水事業特別会計補正予算	可決	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
67	令和5年度能代市浄化槽整備事業特別会計補正予算	可決	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
68	令和5年度能代市浅内財産区特別会計補正予算	可決	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
69	令和5年度能代市檜山財産区特別会計補正予算	可決	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
70	令和5年度能代市国民健康保険特別会計補正予算	可決	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
71	令和5年度能代市後期高齢者医療特別会計補正予算	可決	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
72	令和5年度能代市介護保険特別会計補正予算	可決	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
73	人権擁護委員の候補者の推薦について	同意	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
陳17	地方財政の充実・強化を求める意見書提出について	採択	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
陳18	旧切石小学校ならびに旧仁耐小学校校舎の登録有形文化財(建造物)の文化庁への申請について	不採択	●	●	●	●	議長	●	●	●	●	●	●	●	●	-	-	-	○	○	○	●
議4	地方財政の充実・強化を求める意見書提出について	可決	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議5	森林環境譲与税の譲与基準の見直しを求める意見書提出について	可決	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

阿部 誠 平政・公明党

7月14日からの大雨災害

【問】能代市では、24時間に180ミリメートルという観測史上最大の降水量を記録し、悪土川流域の広範にわたり住家への浸水被害が多数発生した。今後の防災を考え、悪土川の抜本的な対策が必要ではないか。

【答】8月9日、県に対し、国、県、市で悪土川の水害対策の検討を行うための協議会設置及び河川改修事業の推進等による流域治水の抜本的対策を行うよう要望を行った。9月4日開催の米代川圏流域治水協議会においても、3者が連携した対策の実施を再度関係機関に対し、申入れをした。今後も機会を捉え抜本的な対策実施を要望していく。

DXの推進について

【問】北海道北見市では、「書かない窓口」と呼ばれる、全国トップレベルの窓口業務改革が行われており、市民の利便性向上と職員の業務の効率化が図られている。その仕組みを取り入れる考えは。

【答】北見市の取組のうち、その多くの要素は本市でも既に実践しているが、今後予定されているシステム標準化、共通化の影響を考慮しながら、市民と職員双方がさらにメリットを実感できる窓口の在り方を研究したい。「書かない窓口」の仕組みは、本市のDX推進計画に合致するものと考えており、窓口の現状や課題を検証しながら検討していく。

その他の質問事項

- 被災者に対する支援
- 農家支援及び農地被害等への対応
- 災害復旧への対応状況

鍋谷 暁 希望

防災チャットボットの導入

【問】LINE等のアプリを活用し、市役所職員、地域役員、消防団等から収集した災害情報をリアルタイムに共有することができる防災チャットボットを導入する考えは。

【答】防災チャットボットは、災害情報の共有や発信をする上で有効な手段の一つと考えている。現在、災害情報の伝達は、防災行政無線のほか、防災メール、ホームページ、SNS等により行っているが、災害情報の発信手段として新たな媒体が活用され始めており、これらの効果や費用等を見極めた上で、情報提供体制の強化を図っていききたいと考えている。

チャットGPT等の生成AI

【問】チャットGPT等の生成AIは、文章作成やエクセル関数の作成等に有効なツールであり、市役所業務の効率化に寄与すると考える。個人情報への入力が行わない等の職員向けガイドラインやルールを策定する考えは。

【答】生成AIをアイデア出しや文章の作成、要約等に活用することで業務の効率化が図られると判断し、9月1日付で利用申請の方法や注意事項等をまとめた、生成AI運用手順を定めている。特に利用が見込まれるチャットGPTについては、注意点や問題点、活用事例等を記載した利用の手引を作成し、職員に周知している。

その他の質問事項

- 小・中学校における熱中症対策
- 土のうステーションの運用
- 宇宙食によるシティアプローチモーション

小野 立 市民ネットワーク
(市民の声、大河の会、能代民政会)

農地の復旧は基本的に市の事業で行うべきでは

【問】山谷、大柄、種梅等、水害で甚大な被害が出た農地の復旧を農家自身の手にて委ねては営農放棄が相次ぐ。激甚災害指定の恩恵を最大化するため、復旧は市の事業とすることを基本とすべきではないか。

【答】農家負担をできるだけ少なくするため、国の災害復旧事業の要件に合致する箇所のうち、土地改良区の区域以外は市が事業主体となって復旧工事を行うことを基本とした。農家には工事費用のうち、国の補助等を除いた額の10分の1を負担していただく。国の災害復旧事業の対象とならない箇所は県や市の事業により復旧工事を行っていただきたい。

交付金の申請漏れ、市長自身の責任は

【問】白神山地の観光振興のための交付金約1700万円の申請漏れでは山本郡3町に対してのみならず、市民にも迷惑をかけ行政への信頼を損ねた。給与の返上等、市長も自身に処分を課すべきではないか。

【答】市政を預かる者としては責任を感じているが、行政組織においては、それぞれの職務に管理監督者があり、職員による不適切な事務処理が発生した場合は、原因や影響を調査し、具体的な管理監督責任のある者が、その責任を果たしていなかったと認められる場合に処分の対象となる。本事業では、市長の処分には当たらないものと考えている。

その他の質問事項

- 四小の避難所開設時期、誤りでなかったか
- 悪土川ポンプ増強、市も国に要望すべきでは
- 農作物の干ばつ被害の現状認識と対策

相場 未来子

日本共産党

大雨災害の農業被害救援策は

【問】農地への土砂流入や通路陥没、橋の崩落等の復旧はどこまで進んでいるか。また、被災した農家が営農計画を不安なく立てられるように所得補償など市独自の支援を検討できないか。

【答】大規模な被災箇所は国の災害復旧事業に向けた準備をしている。早期復旧が必要な水路や農道は28か所で着手している。土砂堆積等の農地は収穫後の施工希望もある。大柄地区の橋は、災害復旧事業の活用が困難であり、対応を地元と協議していきたい。激甚災害に指定されたことから、工事の調査設計費用分を市が負担したいと考えている。

男性用トイレの個室にボックスの設置を

【問】加齢や病気で男性の尿取りパッド使用者も増えている。ストレスなく外出できるように公共施設の男性用トイレの個室にサニタリーボックスを設置できないか。

【答】能代市総合体育館や高齢者ふれあい交流施設ゆっちゃん、在宅障害者支援施設とらいあんぐる等、一部の施設の男子トイレの個室にサニタリーボックスを設置している。加齢のほか、病気などの理由によりサニタリーボックスの利用を必要としている男性が安心して外出することができるよう設置を進めていきたいと考えている。

その他の質問事項

- 被災した住宅の心急修理制度活用状況は
- マイナンバーカードのトラブルや不安の声は
- 全児童生徒の学校給食無償化の実施を

安井 英章

シリウス

マイナンバーカードと健康保険証

【問】マイナ保険証の誤登録の問題が増えている。利用登録も任意であったものが期限を区切られ強制化している。自治体としてどのように考えているか。

【答】健康保険証利用登録も登録後のマイナ保険証の利用も本人の任意であり、利用登録による制度上の不利益は生じないとされている。市としては、今後も国において不安払拭に取り組んでいくことを求め、登録によるメリットを市民が享受できるようにカードの普及促進に努め、被保険者が必要な医療を安心して受けられるよう適切に対応していく。

上水道加入希望率上昇のため、よさの周知を

【問】上水道に変えると水圧が強くなる。大腸菌などによる汚染の心配もない。給湯機器は水圧が強くないとシャワーにならず子供たちや女性にとっては物足りない。給水圧などを周知し加入希望率の上昇を。

【答】二ツ井地域で令和4年に行った水道整備に関する意向調査の結果を踏まえ、事業費の積算等を進め、採算性等を考慮しながら事業化についての検討を行っている。今後、事業化の際には、二ツ井・荷上場地区簡易水道事業の創設時と同様に、安全な水質を安定した水圧で供給可能な水道への加入について広く周知していきたいと考えている。

その他の質問事項

- 生成A-1の活用は考えているか
- 避難所にマンホールトイレなどの準備を
- 段ボールベッドなどの準備を

今野 孝嶺

希望

今夏の猛暑、雨不足の農作物への影響は

【問】今夏、能代市は猛暑に襲われ、37日間連続で真夏日となるとともに、記録的な降水量の少なさとなった。市が把握できている農作物への影響は。

【答】主力のネギについては、軟腐病等が発生しているため、いち早く蔓延防止に向けた栽培技術指導情報紙を発行し、現地指導を実施した。他の作物についても生育への影響があるため、管理徹底をホームページ等により注意喚起した。今後も、県やJJAと連携し、農業指導情報や栽培管理の技術情報の提供のほか、現地指導を継続していきたいと考えている。

介護支援専門員の処遇改善を行う考えは

【問】介護支援専門員の業務量は膨大であり、業務の重要性ゆえ抱える負担は大きい。介護支援専門員の人材の確保と定着を図るため、市独自の処遇改善施策を行う考えはあるか。

【答】居宅介護支援事業所からの資料によると、市内の介護支援専門員の基本給は介護職員より高い水準となっている。市独自の処遇改善策を行う考えはないが、国において介護支援専門員の処遇改善や人材不足への対応等の議論がされているので、動向を注視していきたい。

その他の質問事項

- 介護支援専門員の人数に不足はあるか
- 男性職員の育児休暇・育児休業
- 能代口ケット実験場の水素の共同研究の考えは

富 貞 一 郎 (市民ネットワーク 市民の声、大河の会、能代民政会)

海打ちを継続するための事業者との協議

【問】落合浜は多くの学生たちがロケットの海打ちを行うことのできる唯一無二の場所となっている。沿岸で洋上風力発電設備の稼働を予定していることから、事業者、法定協議会で交渉を行えないのか。

【答】平成17年から始まった能代宇宙イベントは毎年恒例の一大イベントに成長し、全国各地の大学生を中心に開催されている。中でもハイブリッドロケットの海打ちは全国的に実施できる場所が少ないため、学生たちの日頃の研究成果を試す貴重な機会となっていることから、継続して実施できるように、事業者が選定された際は働きかけをしていきたい。

人口減少対策

【問】国においても市においても人口減少は、雇用、経済、あらゆる産業に影響を与える。市として人口減少対策に関わる横断的な部署を組織編制できないのか。

【答】市の最重要課題として、各種施策に分野横断的に取り組む必要があると考えている。人口減少対策に関わる分野については人口政策・移住定住推進室において、人口ビジョンや総合戦略を策定し、人口減少が進む中でも市民が安心して暮らし続けることができる地域づくりのため、総合計画との整合性を図りながら一体的に取り組んでいる。

その他の質問事項

- 旧崇徳小などの臨時合宿所の設置
○人口減少による小・中学校の統廃合
○大雨被害の抜本的対策

安 岡 明 雄 (希望)

認知症に関する条例を検討する時期では

【問】2年後に約67.5万人が認知症と推定される中、認知症基本法が成立した。誰もがそれぞれの人格や個性を尊重して、支えながら生きていく共生社会を実現するために、条例制定を目指すのが重要ではないか。

【答】認知症への対応は市にとっても大変重要な課題の一つと認識しており、第8期介護保険事業計画に認知症施策の推進として位置づけ、各施策を展開している。引き続き、国、県の動向を注視するとともに、認知症の人や家族、関係者等から広く意見を伺いながら、条例制定の必要性について、他市の状況等も参考に検討していきたい。

教職員の働き方改善と教育の質の向上

【問】教職員が忙しく余裕がない状態では、子供たちの学びに影響を及ぼす。これを解決するためには、具体的な目標指標の設定がないと、勤務実態の改善と教育の質向上が結びつかないのではないか。

【答】市教育委員会では、全教職員の時間外在校等時間を月45時間以内、1年間で360時間以内を目標としている。現在、事務や会議時間の削減が期待される統合型校務支援システムの導入を検討しており、今後教職員が子供たちと向き合う時間を確保し、健康保持とワーク・ライフ・バランスの充実を図れるよう、働き方改革を一層推進していく。

その他の質問事項

- 情報伝達に防災ラジオの取組が有益では
○浸水被害地区の空き家対応はどうか
○避難所の猛暑への対応が急がれるが市の考えは

市民意識調査結果

市民意識調査において、市議会に関する質問項目を設けています。今年の調査結果をお知らせします。

【問】能代市議会では、議会だよりやホームページを通じて活動状況をお知らせしているほか、本会議のライブ・録画中継や、議会基本条例に基づき委員会の傍聴を行うなどの取組をしていますが、市議会に對してどのようなことを期待しますか。(選択は2つまで。構成比は回答者769人に対する割合のため、合計値は100%になりません。)

- 1位 市民の意見を広く聴く取り組みを充実する (45.3%)
2位 市政の発展に資する政策を提案する (31.1%)
3位 特にない (26.4%)
4位 条例や予算等の内容が適正か審議する (19.0%)
5位 行政の事務が公正に行われているかチェックする (12.2%)
6位 議会活動に関する情報提供を充実する (10.1%)
7位 無回答 (3.0%)
8位 その他 (0.9%)

各委員会・分科会での主な審査概要

決算特別委員会

令和4年度一般会計と特別会計の決算を認定

9月13日に決算特別委員会を開催し、総務企画分科会、文教民生分科会、産業建設分科会の3分科会を設置し、一般会計と10の特別会計の決算を審査しました。一般会計の決算額は、歳入338億3948万5599円、歳出323億6128万9778円で、歳入歳出差引額は14億7819万5821円。全特別会計の決算額は、歳入146億2206万1304円、歳出142億6202万9563円で、各特別会計とも黒字決算または収支同額でした。審査の結果、決算を認定すべきものと決しました。主な質疑に対する答弁概要は次のとおりです。

【一般会計決算総括】

実質単年度収支は4億6036万5000円の赤字となっているが、物価高騰対策として財源不足分を財政調整基金で賄ったことや、能代工業団地拡張事業において、4年度に実施した用地購入費や造成工事に係る県補助金、用地売払い収入を合わせた4億6000万円程度が5年度の歳入となり、財源の年度間調整を

行ったことが主な要因である。

【前年度比で市税収入が増加した要因】

増加した要因は、個人市民税の給与所得及び分離課税分の所得が増加したこと、固定資産税の商業施設及び風力発電設備の新設等があったこと、軽自動車税の環境性能割の臨時的軽減措置が終了したこと等が主な要因と考えている。今後、人口減少による市民税等の減少のほか、固定資産税についても減価償却等の影響により緩やかに減少していくものと見込まれることから、長期的には減少傾向にあると考えている。

【ふるさと納税返礼品の新商品開発等の取組】

ふるさと納税事業を本市の特色あるまちづくりや、市の産品等のPRの機会として活用していくため、返礼品についても工夫の余地はありとされており、新たな返礼品開発や、寄附者にアピールするような取組を検討していきたい。

【北高跡地活用調査等事業費の内容】

北高跡地活用可能性の検討のための秋田公立美術大学への委託事業330万円のほか、北高跡地で実施する様々なイベント等の開催にかかる経費が主なものである。

【GIGAスクールでのタブレット端末の活用状況】

授業内では表現ツール、思考ツールとして話し合いの場面や学び合いの場面のほか、教科の特性に合わせて、調べ学習や動画撮影等で活用している。

【向能代公民館改築に関する地質調査等の結果】

現在の敷地内に建設することが可能であること、建物の配置等が具体的に示された。

【国民健康保険税滞納の解消に向けた対応策】

税務課の窓口を毎週金曜日午後7時まで延長して開設しているほか、納税強調月間を5月と11月に設定し、休日窓口を開設して納税相談等を行っている。このほか、滞納者へ納税コールを実施し、支払いを促している。さらに、スマートフォン決済アプリによる納入を開始し、支払方法の拡大に努め、口座振替加入促進のために納税通知書に口座振替の利用案内を記載し、市広報、ホームページでも周知を図っている。

【テュアルシステム事業の実績】

高校生21人が参加し、そのうち14人が実習先への就職につながった。

【8月の大雨による被害への支援】

農地・農業用施設災害復旧支援事業の実績が約730万円のほか、土のう袋や砕石等の資材提供により農家の復旧を支援した。

【毘沙門憩の森の事業費の内容】

消耗品等で約79万円、管理人の人員費で約170万円となっている。

【毘沙門憩の森の在り方】

当該施設は、森林等の豊かな自然に囲まれたエリアを活用し、市民が自然に親しむことができる場の提供や山村振興を目的として整備されたが、年数の経過により老朽化が進み、修繕が必要な箇所もあるため、費用対効果も考えながら施設の在り方を検討していきたい。

【除雪車両数とオペレーターの人数】

直営は能代地域が12台で13人、二ツ井地域が13台で12人となっている。委託業者は能代地域で27社、二ツ井地域で5社あり、直営と委託の総台数としては能代地域で90台、二ツ井地域で32台となっている。

(鍋谷 暁)

総務企画委員会

質 災害ごみ処理費に関し、予算内で災害ごみは全て処分できる見通しか。

答 現在、一時的に仮置きをしている災害ごみの処分については、予算内で処分できると見込んでいるが、現在も無料回収を行っているため、大幅な増加があった場合は、追加補正などの対応を検討したい。

質 浸水被害の判断について、民間の保険会社と異なるケースがあったと聞くが、被災した方がなるべく多く災害見舞金を受給できるように配慮が必要ではないか。

答 浸水被害の判断については、現地調査に基づき判断しているが、判断が難しいケースについては、県総合防災課に相談した事例もあった。今後現地調査等により十分確認した上で慎重に対応していきたい。

質 地域活性化起業人の委託事業の内容は。

答 まちづくりについて多くの実績や経験を持つ人材を、地域活性化起業人として、地域づくりや地域活性化に携わっていただく事業である。現在想定しているのは、他の地域で多くの実績を持っている方に、二ツ井地域のまちづくりについて、その知見を生かしていただきたと考へていふ。

質 大雨災害による被害者に対する市税の減免制度について、被害者に本制

度をどのように周知していくのか。

答 事前に被害が大きかった地域を対象にチラシを配布しており、市税のほか、対象となる減免制度について周知を行っている。また、住宅に被害を受けた方については、罹災証明書の発行等を通じて対象者を把握していることから、連絡をしながら対応していきたい。農作物の被害については、現在ホームページと広報で周知しているが、現段階でどの程度の減収か把握することが困難な状況であることから、今後被害を受けた方々に対し広く周知できる方法を検討していきたい。

(鍋谷 暁)



総務企画委員会の様子

文教民生委員会

質 落雷により故障した湊城西小学校自動火災報知設備の現在の状況は。

答 8月10日に修理業者と契約を締結後、同月26日に交換作業を完了し、稼働している。

質 子育て世帯物価高騰対策給付金給付事業費に関し、事業内容及び給付方法は。

答 10月1日現在、市に住所を有する18歳までの児童を養育している世帯を対象に、児童1人当たり2万円を給付しようとするもので、10月中旬に対象者へお知らせの送付を予定している。児童手当等支給口座を把握している方については11月に給付し、そのほか申請が必要な方についても12月には支給できるように進めたい。

質 給付額の根拠は。

答 子育て世帯生活支援特別給付金の給付額及び、電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援給付金の給付額の実績を勘案したほか、総務省家計調査において、2人以上の世帯(勤労者世帯)の1人当たりの食費が昨年比で約1万2000円上昇しているなどのデータを考慮し、2万円とした。

質 小学校管理費に関し、光熱水費を追加しようとする理由は。

答 第四小学校、浅内小学校及び二

ツ井小学校が深夜電力料金プランの契約となっており、前年度比1.5倍の使用料金が見込まれることなどから追加しようとするものである。

質 中学校管理費を追加しない理由は。

答 同プランの契約をしている中学校がなく、単価上昇を見込んだ当初予算の範囲内に収まると予想していることから、追加補正は行わないこととしているが、今後の使用量や単価の推移により、必要に応じて検討していきたい。

質 埋蔵文化財調査事業費に関し、委託料の内容は。

答 主なものとして、蛍光エックス線分析という手法を用いて、黒曜石に含まれる成分の違いから産地を推定する、黒曜石産地推定分析業務委託料、遺構から出土した骨の種別を確定するための骨同定分析委託料及び、鉄製品の出土に伴い、さびを除去した後高級アルコール法によって、さびの進行を防止して保護膜を形成し、保存状態を良好にする処理を行う、鉄製品保存処理業務委託料である。

質 生涯スポーツ推進事業費に関し、減額補正の内容は。

答 県の補助事業から委託事業への変更に伴い、事業の組み直しを行うとうとするもので、コーディネーターの委託料等の減額が主なものである。

(藤田拓翔)

産業建設委員会

質 7月の豪雨により被害を受けた農地の復旧の支援方法は。

答 復旧工費が40万円以上の箇所には、国の農地・農業用施設災害復旧事業費の利用が考えられるが、国の災害査定を受けた後に予算措置、工事発注となるため、年度を越しての復旧になる可能性がある。40万円未満の箇所については、県の農地・農業用施設小災害支援事業や市の農地・農業用施設災害復旧支援事業の利用が考えられ、農家の意向を確認しながら、希望に沿った復旧の支援をしていきたいと考えている。

質 果樹産地復旧支援事業費補助金の内容は。

答 4月末に発生した遅霜の影響で、梨の花が枯れるなどにより収穫できなくなった果樹農家に対して、再生産に向けた防除経費等を支援する県の助成に上乗せして助成しようとするものであり、二ツ井地域の果樹農家5人が対象である。

質 能代市洋上風力発電産業観光受入態勢整備支援事業費補助金について、実施主体が予定している事業内容は。

答 ガイド育成のための養成講座の開催や視察研修の実施、旅行商品造成事業としてモーターツアーの実施や船上視察に対応するためのライフジャケット

ト等の購入を予定している。

質 能代工業団地拡張造成工事の請負契約の変更について、設計の変更内容は。

答 造成工事後にのり面が雨水によって崩落するのを防ぐため、外周の一部に457メートルの築堤整備を行うものである。

質 市営万町住宅建替事業建設工事について、津波など災害への対応は。

答 津波への対策として、浸水想定を考慮し、1階には住戸を配置していない。また、エレベーターホールについては、一時避難場所として利用できるように想定しており、太陽光発電と蓄電池を組み合わせて災害時でもコンセント等の使用が可能となっている。

質 令和4年度水道事業会計決算の認定について、大型店舗の出店による収益への影響は。

答 店舗出店による増収以上に全体の使用水量が減少したことにより、給水収益は減少している。

(今野孝顕)

議会改革調査特別委員会

9月19日に開催された委員会では、前回の協議結果に基づき、各会派からの意見を持ち寄り検討を行った。

タブレット端末の活用について

意見 議員個人所有の端末使用について

意見 端末を公費負担で用意する。
意見 個人所有の端末を使用する。

使用範囲について

意見 庁舎外でも使用することが想定されるため、使用範囲を限定しない。
意見 議員の使用の有無やその範囲について

意見 事務局職員は使用する必要があるが、当局職員については当局判断とする。

意見 事務局職員及び当局職員については、委員会等出席職員までの範囲とする。

通信費及び端末をリースした場合の利用料金に関する自己負担について

意見 全額公費負担とする。
意見 全額自己負担とする。

意見 全額自己負担を基本とするが、公費で負担する場合は、議員報酬や議員定数を削減することを併せて検討し、現在の議会費を上回る公費の支出を行うべきではない。

ペーパーレス化への対応について

意見 移行期間を定め、紙媒体による資料を併用する。

意見 移行期間は定めず、予算書及び決算書のみ冊子で配付する。

ペーパーレス化に伴う、議案等の文書共有について

意見 利便性を考慮して、県内各市等が導入している有料の文書共有システムを活用したかどうか。

意見 経費がかからないように、資料をPDF等でメール送信したらどうか。

協議結果 意見が一致していない検討事項について、次回、意見集約することとした。なお、導入にかかる経費について、事務局で調査し、事前配付した上で、各会派で検討し、次回、意見を持ち寄ることとした。

政治倫理の確立について

能代市議会議員政治倫理条例第3条第6号の表記について

協議結果 改選前の本委員会で協議した際に、日高市議会ソーシャルメディアの利用に関するガイドラインが資料として配付されていたが、6年以上前に制定されたものであるため、新たな事例について事務局で調査し、事前配付した上で各会派で検討し、12月定例会の本委員会で意見を持ち寄ることとした。

平成25年改正前条例第11条の再考について

協議結果 出席委員全員が現行のとおりとする、との意見だったが、12月定例会の本委員会で改めて確認することとした。

(阿部 誠)

